

雨のゆくえ

日本にはたくさん雨の言葉があります
季節を表す言葉、

鮮やかさを表す言葉

雨はいつも近くにありました

雨は誰の上にも分け隔てなく降ります

「健全な水循環」という言葉が

ここ20年ほどの間に

使われるようになり

「当たり前雨」も

「資源としての雨」へと

意味を変えつつあります

資源として雨を捉えることは

日本の風土から

自然と導きだされるものではないでしょう

しかし、すでに人工的な環境で暮らす現代人にとって

雨を通して水を循環させる文化をつくることは

今、必要な修繕作業なのかもしれません

雨に思えば 沖大幹 2

天気予報官の前をみるころと判断
忘れられない雨のはなし 倉嶋厚 4

『都市の水循環』発刊から四半世紀を振り返る
個人下水道という発想の現在 村瀬誠 8

佐藤清
人見達雄

雲が風を呼び、風が雨を連れてくる
海に生きる観天望気 山田吉彦 14

屋根から雨に思いを馳せる
雨をしのぐ屋根、外に誇る屋根 石田潤一郎 18

透水性舗装と排水性舗装はどこが違う
雨を通す道路舗装 登芳久 22

日常に非日常を生み出す雨の緊張感
表現される雨 芳賀徹 24

水の文化学習実践取材 沖縄方言普及協議会
沖縄方言「うちなーぐち」で表現される天水の恵み
言葉は文化 新聞で伝える沖縄文化 編集部 26

雨はどこへいくのか 編集部 34

水の文化書誌 俳句・短歌 古賀邦雄 38

里川研究揭示板

インフォメーション 42